

## 令和2年6月8日審議

1

申請者	院長	高橋 幸利
2020-09 WDR45遺伝子変異によるてんかんの臨床的検討		
研究の概要	WDR45遺伝子変異によるてんかんは、多様な臨床特徴を有し、臨床、脳波、画像、血液生化学検査、髄液検査などの特徴は明らかになっているとは言い難い。抗てんかん薬治療に難治に経過する例が多く、その治療法も確立できていない。当院で診断された症例を主体に、これらの特徴を検討する。	
判定	承認	本申請は承認された。